



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月7日

上場会社名 大日本塗料株式会社

上場取引所 東

コード番号 4611 URL <https://www.dnt.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里 隆幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 永野 達彦 TEL 06-6266-3102

半期報告書提出予定日 2025年11月10日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	45,965	27.2	1,817	28.0	2,124	23.2	1,405	48.3
2025年3月期中間期	36,135	0.6	2,524	7.0	2,764	6.6	2,716	38.8

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 390百万円 (84.3%) 2025年3月期中間期 2,483百万円 (31.2%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	49.32	49.09
2025年3月期中間期	95.42	94.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	134,195	75,049	47.8
2025年3月期	133,344	76,170	48.8

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 64,086百万円 2025年3月期 65,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		49.00	49.00
2026年3月期		0.00			
2026年3月期(予想)				58.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,000	26.9	4,100	13.1	4,300	17.3	2,900	69.3	101.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	29,710,678 株	2025年3月期	29,710,678 株
期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,155,324 株	2025年3月期	1,213,777 株
期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	28,500,285 株	2025年3月期中間期	28,469,316 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	9
(当中間連結会計期間における連結範囲の重要な変更)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、外部環境の不確実性が高まるなか、米国の通商政策の動向に加え、継続する円安やエネルギー・物流コストの高止まりに起因する物価上昇が企業収益や個人消費の下押し要因となっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの経営成績は、売上高は459億6千5百万円（前年同期比 27.2%増）、営業利益は18億1千7百万円（同 28.0%減）、経常利益は21億2千4百万円（同 23.2%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は14億5百万円（同 48.3%減）となりました。

売上高は、一部製品におけるJISマーク表示の一時停止処分による影響（以下、JIS影響）により販売が低調に推移するなか、前期に連結子会社となった神東塗料グループの損益を当期より連結に含めたことにより、前年同期を大きく上回りました。

利益面は、販売の伸び悩みによる収益性の低下に加え、人材強化を目的とした人件費の増加等を中心とした経費増の影響が大きく、営業利益及び経常利益は前年同期を下回りました。親会社株主に帰属する中間純利益は、前期に計上された子会社株式売却益の剥落もあり、前年同期を下回りました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[国内塗料事業]

売上高は354億6千6百万円（同 38.5%増）、営業利益は5億4千2百万円（同 51.9%減）となりました。

一般用分野は、JIS影響の継続により販売が低調に推移し、売上高は前年同期を下回りました。工業用分野は、自動車部品用途などの一部市況が低調に推移し、売上高は前年同期を下回りました。インク・分散技術関連は、需要の堅調な推移に加え新規顧客の獲得により、売上高は前年同期を上回りました。当セグメント全体の売上高は、神東塗料グループの連結寄与により前年同期比で大きく増加しました。

営業利益は、製品ミックスの改善や価格是正に継続して取り組んだものの、販売の伸び悩みによる収益性の低下に加え、人材確保・育成に向けた人件費の増加等の経費増加により、前年同期を下回りました。

[海外塗料事業]

売上高は41億5千5百万円（同 0.8%増）、営業利益は2億3千9百万円（同 55.8%増）となりました。

東南アジアでは、日系自動車メーカーの生産低迷による影響で需要が減少したものの、神東塗料グループの連結寄与により、売上高は前年同期を上回りました。メキシコでは、日系自動車メーカーの生産台数は増加したものの、低採算品の販売抑制により売上高は前年同期を下回りました。中国では、各種工業用途における需要の減少により、売上高は前年同期を下回りました。

営業利益は、メキシコにおける収益性の改善が寄与し、前年同期を上回りました。

[照明機器事業]

売上高は48億7千7百万円（同 1.1%減）、営業利益は8億4千4百万円（同 18.1%減）となりました。

LED照明分野は、再開発案件を中心とした商業施設向けや宿泊施設向けの堅調な需要に支えられ、売上高は前年同期を上回りました。一方、UVランプ分野における特定顧客向けの需要の減少や、蛍光灯分野における市場縮小による需要の減少等により、当セグメント全体の売上高は前年同期を下回りました。

営業利益は、価格戦略により製品収益性のさらなる向上が進展したものの、前期に実施した本社移転に伴う減価償却費の増加や人材確保・育成に向けた人件費の増加が影響し、前年同期を下回りました。

[蛍光色材事業]

売上高は5億3千9百万円（同 3.7%減）、営業利益は1千8百万円（同 44.1%減）となりました。

顔料分野は、EU地域等における海外向け需要の回復や文具向けへの新規採用により、売上高は前年同期を上回りました。一方、加工品分野は、前期における大口物件の剥落により、売上高は前年同期を下回りました。

営業利益は、経費の圧縮に努めたものの、売上高の減少及び原材料費の高騰が影響し、前年同期を下回りました。

[その他事業]

売上高は9億2千6百万円（同 1.0%増）、営業利益は2千8百万円（同 71.0%増）となりました。

物流事業は、取扱量の減少により、売上高は前年同期を下回りました。塗装工事業業は、工事受注が回復し、売上高は前年同期を上回りました。営業利益は、塗装工事において収益率の高い物件受注の増加により、前年同期を

上回りました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は1,341億9千5百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億5千1百万円の増加となりました。流動資産は529億7千4百万円で前連結会計年度末と比較して9千2百万円の減少となりましたが、これは現金及び預金の減少、受取手形、売掛金及び契約資産の減少が主因であります。固定資産は812億2千1百万円で前連結会計年度末と比較して9億4千3百万円の増加となりましたが、これは有形固定資産の増加が主因であります。

負債は591億4千5百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億7千1百万円の増加となりました。流動負債は391億円で前連結会計年度末と比較して5億4千1百万円の減少となりましたが、これは支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の減少が主因であります。固定負債は200億4千5百万円で前連結会計年度末と比較して25億1千3百万円の増加となりましたが、これは長期借入金の増加、繰延税金負債の増加が主因であります。

純資産は750億4千9百万円で前連結会計年度末と比較して11億2千万円の減少となりました。これは為替換算調整勘定の減少、退職給付に係る調整累計額の減少、非支配株主持分の減少が主因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想は、昨今の事業環境を踏まえ、2025年5月15日「2025年3月期 決算短信」にて公表した連結業績予想から、以下のとおり変更いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	92,000	5,000	5,300	3,400	119.31
今回発表予想 (B)	92,000	4,100	4,300	2,900	101.75
増減額 (B - A)	-	△ 900	△ 1,000	△ 500	
増減率 (%)	-	△ 18.0	△ 18.9	△ 14.7	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	72,511	4,716	5,199	9,437	331.40

当中間期においては、売上高につきましてはJIS影響による販売低迷が継続した一方、連結子会社の売上が好調に推移したことにより、期初想定水準の着地となりました。営業利益及び経常利益につきましては、主に国内塗料事業における販売の伸び悩みによる収益性の低下により、期初想定を下回る着地となりました。

当中間期の状況に加えて、現時点ではJISマーク表示の一時停止処分の解除時期が未確定であることを踏まえ、通期連結業績につきましては、利益面において前回予想を下回る見通しです。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,649	12,535
受取手形、売掛金及び契約資産	15,709	15,472
電子記録債権	8,073	8,047
商品及び製品	8,423	8,720
仕掛品	1,010	947
原材料及び貯蔵品	5,238	5,279
その他	1,984	2,005
貸倒引当金	△22	△35
流動資産合計	53,066	52,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,877	38,033
減価償却累計額	△28,112	△28,377
建物及び構築物(純額)	9,764	9,656
機械装置及び運搬具	38,801	39,185
減価償却累計額	△34,347	△34,669
機械装置及び運搬具(純額)	4,454	4,516
土地	27,737	27,650
リース資産	1,210	935
減価償却累計額	△1,118	△896
リース資産(純額)	91	39
建設仮勘定	2,006	3,236
その他	10,421	10,537
減価償却累計額	△8,436	△8,523
その他(純額)	1,985	2,013
有形固定資産合計	46,040	47,112
無形固定資産		
リース資産	5	2
その他	1,404	1,271
無形固定資産合計	1,410	1,274
投資その他の資産		
投資有価証券	9,447	9,194
繰延税金資産	1,477	1,410
退職給付に係る資産	21,215	21,511
その他	704	736
貸倒引当金	△19	△18
投資その他の資産合計	32,826	32,834
固定資産合計	80,277	81,221
資産合計	133,344	134,195

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,286	20,177
短期借入金	10,536	10,186
リース債務	295	132
未払法人税等	856	762
賞与引当金	198	196
役員賞与引当金	82	1
製品補償引当金	252	185
品質関連損失引当金	320	368
開発中止損失引当金	80	80
その他	6,732	7,009
流動負債合計	39,641	39,100
固定負債		
長期借入金	1,040	3,240
リース債務	351	500
繰延税金負債	11,903	12,059
再評価に係る繰延税金負債	1,215	1,215
退職給付に係る負債	2,242	2,231
役員退職慰労引当金	11	12
企業結合に係る特定勘定	659	659
その他	107	126
固定負債合計	17,532	20,045
負債合計	57,173	59,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,440	2,440
利益剰余金	44,642	44,650
自己株式	△1,394	△1,327
株主資本合計	54,515	54,590
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,318	3,266
土地再評価差額金	1,669	1,669
為替換算調整勘定	2,275	1,647
退職給付に係る調整累計額	3,248	2,913
その他の包括利益累計額合計	10,512	9,496
新株予約権	138	131
非支配株主持分	11,003	10,831
純資産合計	76,170	75,049
負債純資産合計	133,344	134,195

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	36,135	45,965
売上原価	24,985	33,338
売上総利益	11,149	12,626
販売費及び一般管理費	8,625	10,808
営業利益	2,524	1,817
営業外収益		
受取利息	59	38
受取配当金	171	165
持分法による投資利益	—	136
その他	185	244
営業外収益合計	416	584
営業外費用		
支払利息	41	108
為替差損	—	86
製品補償引当金繰入額	73	—
その他	60	83
営業外費用合計	175	278
経常利益	2,764	2,124
特別利益		
固定資産売却益	2	155
投資有価証券売却益	975	602
子会社株式売却益	274	—
特別利益合計	1,252	757
特別損失		
固定資産処分損	77	37
減損損失	29	—
品質関連損失	—	152
特別損失合計	107	190
税金等調整前中間純利益	3,910	2,691
法人税、住民税及び事業税	751	700
法人税等調整額	325	389
法人税等合計	1,076	1,089
中間純利益	2,833	1,601
非支配株主に帰属する中間純利益	117	196
親会社株主に帰属する中間純利益	2,716	1,405

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	2,833	1,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,184	△44
為替換算調整勘定	1,273	△801
退職給付に係る調整額	△438	△334
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△30
その他の包括利益合計	△350	△1,211
中間包括利益	2,483	390
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,210	389
非支配株主に係る中間包括利益	273	0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,910	2,691
減価償却費	1,195	1,468
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△1
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△58	△81
退職給付に係る資産負債の増減額	△1,109	△798
製品補償引当金の増減額 (△は減少)	42	△66
品質関連損失引当金の増減額 (△は減少)	—	47
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	11
受取利息及び受取配当金	△230	△203
支払利息	41	108
持分法による投資損益 (△は益)	1	△136
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△155
固定資産処分損益 (△は益)	77	37
減損損失	29	—
品質関連損失	—	152
投資有価証券売却損益 (△は益)	△975	△602
子会社株式売却損益 (△は益)	△274	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,468	189
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△80	△375
仕入債務の増減額 (△は減少)	△961	△54
その他	114	△39
小計	3,184	2,194
利息及び配当金の受取額	230	367
利息の支払額	△41	△107
品質関連損失の支払額	△54	△158
和解金の支払額	—	△70
法人税等の還付額	26	64
法人税等の支払額	△915	△897
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,430	1,393
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△231	△471
定期預金の払戻による収入	117	295
有形固定資産の取得による支出	△1,419	△2,199
有形固定資産の売却による収入	5	221
有形固定資産の除却による支出	△49	△41
無形固定資産の取得による支出	△80	△47
投資有価証券の取得による支出	△4	△2
投資有価証券の売却による収入	1,267	745
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	529	—
その他	20	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	155	△1,517
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△700	△350
長期借入れによる収入	1,000	2,200
長期借入金の返済による支出	△300	—
リース債務の返済による支出	△187	△116
配当金の支払額	△996	△1,396
非支配株主への配当金の支払額	△116	△166
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,300	170
現金及び現金同等物に係る換算差額	216	△297
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,502	△251
現金及び現金同等物の期首残高	7,867	11,469
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,370	11,218

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	25,602	4,121	4,933	560	35,217	917	36,135	—	36,135
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	631	6	24	46	708	1,186	1,895	△1,895	—
計	26,233	4,128	4,957	606	35,926	2,103	38,030	△1,895	36,135
セグメント利益	1,128	154	1,030	32	2,346	16	2,362	161	2,524

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額161百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当中間連結会計期間におけるセグメントごとの固定資産の減損損失の計上額は、「国内塗料」において29百万円であります。

なお、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	35,466	4,155	4,877	539	45,038	926	45,965	—	45,965
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	463	3	35	60	562	1,187	1,750	△1,750	—
計	35,930	4,159	4,912	599	45,601	2,113	47,715	△1,750	45,965
セグメント利益	542	239	844	18	1,645	28	1,673	144	1,817

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額144百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 神東塗料株式会社を2025年3月18日付で新たに連結の範囲に含めたことに伴い、当連結会計期間より「国内塗料事業」、「海外塗料事業」の報告セグメントに追加しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当中間連結会計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月24日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式50,690株の処分を行いました。また、ストックオプションの権利行使に伴い自己株式7,800株の処分を行いました。この結果、当中間連結

会計期間において自己株式が67百万円減少し、当中間連結会計期間末において自己株式が1,327百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当中間連結会計期間における連結範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。